

クレーンの安全操作の為に、ブレーキのメンテナンスを実施することが不可欠です。メンテナンスの欠如により貨物の落下事故やクレーンの暴走等の重大事故を引き起こす可能性があります。

ブレーキには多くの摺動部分があり、性能を十分に発揮するには、それらの摺動状況を良好に保つことが必要です。重要な安全装置であるブレーキは、4年に一度、専門工場にて定期オーバーホールが必要です。

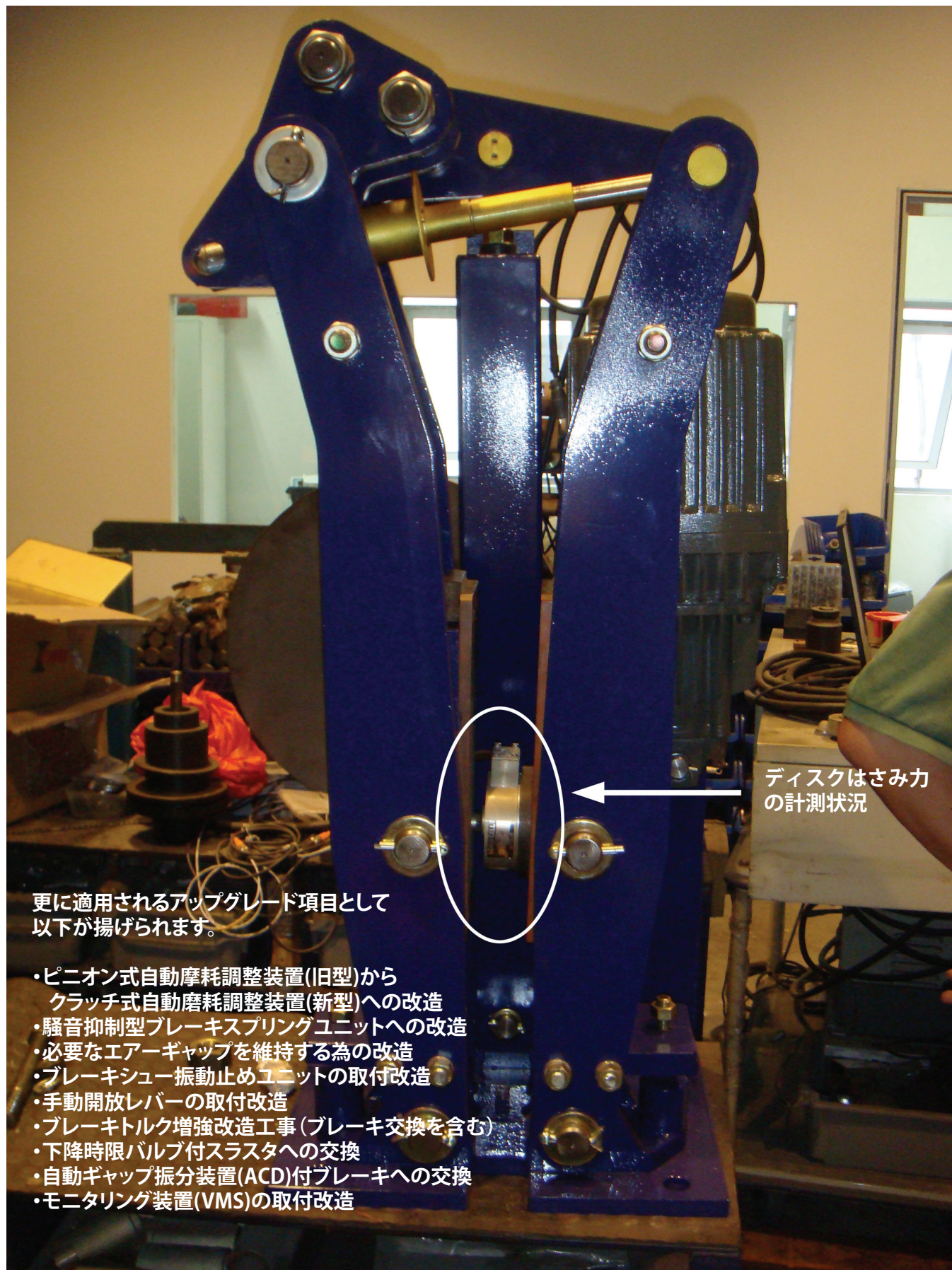
このオーバーホール期間中、ブレーキの代替機を取付ける事でクレーンの操業継続が可能です。ここでシンガポールのP S Aの例の如く定時オーバーホール及びアップグレードをすることにより、安定操業が得られます。

推奨されるオーバーホール項目に
以下が揚げられます。

- ・ブレーキ力(ディスクはさみ力) の測定
- ・ブレーキ本体の分解・点検
- ・ブッシュ・ピンの交換
- ・ピニオン式自動磨耗調整装置(AWA)の
ピニオン交換
- ・ピニオン式自動磨耗調整装置(AWA)の
キャッチ交換
- ・ブレーキシュー交換
- ・ブレーキライニングの交換
- ・ブレーキスプリングの交換
- ・スラストのベアリング・シール及び
オイル交換
- ・ディスクの交換

ICANでは国内外で年間 約1000台の
メンテナンスを実施しています。





更に適用されるアップグレード項目として
以下が揚げられます。

- ・ピニオン式自動摩耗調整装置(旧型)から
クラッチ式自動磨耗調整装置(新型)への改造
- ・騒音抑制型ブレーキスプリングユニットへの改造
- ・必要なエアーギャップを維持する為の改造
- ・ブレーキシュー振動止めユニットの取付改造
- ・手動開放レバーの取付改造
- ・ブレーキトルク増強改造工事(ブレーキ交換を含む)
- ・下降時限バルブ付スラストへの交換
- ・自動ギャップ振分装置(ACD)付ブレーキへの交換
- ・モニタリング装置(VMS)の取付改造

ディスクはさみ力
の計測状況